

「カルビーポテト株式会社 パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を越えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかける（「Tier N」から「Tier N+1」へ）ことにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を越えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。その際、災害時等の事業継続や働き方改革の観点から、取引先のテレワーク導入やBCP（事業継続計画）策定の助言等の支援も進めます。

（個別項目）

企業間の連携

○馬鈴薯運搬用トレーラー（当社名称：ピート車）を導入したことで、運転手の負担削減、輸送の生産性向上に取り組めます。

○下請事業者の従業員などに対する安全衛生教育を実施するなど、労働安全に関する情報提供を支援します。

2. 「振興基準」の遵守

親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

①価格決定方法

不合理な原価低減要請を行いません。取引対価の決定に当たっては、下請事業者から協議の申入れがあった場合には協議に応じ、労務費上昇分の影響を考慮するなど下請事業者の適正な利益を含むよう、十分に協議します。取引対価の決定を含め契約に当たっては、親事業者は契約条件の書面等による明示・交付を行います。

②手形などの支払条件

下請代金は可能な限り現金で支払います。手形で支払う場合には、割引料等を下請事業者の負担とせず、また、将来的には支払サイトを60日以内とするよう努めます。

③知的財産・ノウハウ

片務的な秘密保持契約の締結、取引上の立場を利用したノウハウの開示や知的財産権の無償譲渡などは求めません。

④働き方改革等に伴うしわ寄せ

取引先も働き方改革に対応できるよう、下請事業者に対して、適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更を行いません。災害時等においては、下請事業者に取引上一方的な負担を押し付けないように、また、事業再開時等には、できる限り取引関係の継続等に配慮します。

3. その他（任意記載）

当社では、取引先との公平なパートナーシップ構築を目指し、企業行動憲章に以下の通り宣言しています（第1項、第2項、第6項～第10項省略）。また、マネジャーズガイドラインや規程などにも明記し、役職者などへのe-ラーニングなどの形で教育・周知しています。

「企業行動憲章（抜粋）」

① 関連会社との共存共栄を目指します

私たちは、仕事で協力し合う関連会社の自主性を尊重するとともに、関連会社との共存共栄を目指します。

② 協力会社に対し、優越的な地位を濫用しません

私たちは、協力会社との取引において、優越的な地位を利用して不当な取引をしません。

③ 取引において公正な競争を行います

私たちは、取引において、法令を遵守し、同業他社と公正で自由な競争を行います。商品・サービスの販売または受注について、不当な手段は使用しません。

令和2年11月19日

カルビーポテト株式会社

代表取締役社長 中村 一浩